

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 87 (当初計画 : No. 90)

東北森林管理局

取組名	間伐の推進と木材利用の推進 (継続)
流域名	米代川流域 (米代西部)
重点事項番号	① - 11・13
実施箇所及び実施日	米代西部森林管理署管内 平成 24 年度
取組の背景及び必要性	間伐対象林分の資源が充実してきている中で、健全な森林の育成につながる間伐の推進と木材利用の促進が課題となっている。また、木質バイオマスの PR 不足が懸念される。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林吸収源対策等間伐推進 健全な森林育成のため、第三次国有林野施業実施計画に基づき、平成 24 年度伐採予定箇所を計画どおり実施した。</li> <li>○小径木等間伐材の安定供給 平成 24 年度生産請負箇所から搬出された若齢小径木の間伐材について、安定供給システム販売により合板・集成材工場向けに供給を行った。</li> <li>○各種工事での木材利用促進 治山・林道工事で木材の利用を促進するため、設計段階で木材利用についての指示・指導を行った。</li> <li>○木質バイオマス PR 当署署長室にペレットストーブを設置し、来客者に木質バイオマスの PR を行った。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 他の森林管理署との連携・HP によるペレットストーブの PR
連携協働相手先・役割	工事施工業者 積極的な木材の利用促進
取組の結果、反響、今後の課題等	・平成 24 年度は計画どおりの間伐を実施したものの、木材利用を促進するためには、継続して小径木等の間伐材の利用拡大を推進する必要がある。
PR の実施状況及びその期待する効果	・ペレットストーブなど木質バイオマスに係る PR を行っているものの、署 HP の閲覧者数が定かではなく関心度は把握できていない。しかし、化石燃料の高騰や電気節約などによる木材利用の必要性が高まりつつある中で、引き続き PR に努めたい。



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 88 (当初計画 : No. 91)

東北森林管理局

取組名	「風の松原」で地域と連携した松くい虫被害対策の実施(継続)
流域名	米代川流域(米代西部)
重点事項番号	②-21・⑥-62
実施箇所及び実施日	能代市後谷地国有林 155 林班外 通称「風の松原」 平成 24 年 4 月 22 日(日) ボランティア大会 平成 24 年 6 月 21 日(木) ~ 26 日(火) 薬剤散布
取組の背景及び必要性	歴史ある海岸防災林「風の松原」を松くい虫被害から守ろうという地域の意識が高い。
取組の内容	○関係団体と連携したボランティア大会の実施 4 月 22 日(日)に県や市、ボランティア団体と連携して約 700 名の参加により松くい虫被害を伝播するマツノマダラカミキリが産卵する松枝の集積を行い、集積した松枝はバイオマス発電に利用した。 ○松くい虫防除作業の実施 秋田県山本地域振興局、能代市と連携を図り、同一時期に一斉防除(薬剤散布)を実施した。実施にあたっては、市の広報誌を活用したほか周辺自治会へのチラシ配布などにより周知を図った。
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 秋田県山本地域振興局、能代市、ボランティア団体と連携した松くい虫防除対策の実施・市民ボランティア大会の支援
連携協働相手先・役割	秋田県山本地域振興局、能代市、ボランティア団体 森林管理署と連携した取組
取組の結果、反響、今後の課題等	・ボランティア大会を含め、地元紙では「風の松原」に係る特集も組まれるなど市民の関心の高さを知ることができる。 ・薬剤散布については地元の理解が得られており、防除の継続についても要望が出ている。
PR の実施状況及びその期待する効果	・地元紙などへの掲載により、さらに多くの住民が、「風の松原」に関心を持ち、ボランティアの充実が図られることを期待したい。

【参考資料】

取 組 名	「風の松原」で地域と連携した松くい虫被害対策の実施（継続）
-------	-------------------------------

○関係団体と連携したボランティア大会の実施



○松くい虫防除作業の実施



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 89 (当初計画 : No. 92)

東北森林管理局

取組名	市民との連携による「風の松原」の保全管理（継続）
流域名	米代川流域（米代西部）
重点事項番号	⑥－62
実施箇所及び実施日	能代市後谷地国有林 155 林班外 通称「風の松原」 平成 24 年 4 月 22 日（日）ボランティア大会 平成 24 年 8 月 16 日（木）林内状況調査
取組の背景及び必要性	「風の松原」は市街地に隣接しており、健康づくりの場や癒しの場として多くの方から利用されている。そのため、より快適な利用につながるよう、市民ボランティアと連携して保全管理を実施していく。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県や市、ボランティア団体と連携してボランティア大会の活動の一環として林内の清掃活動を行った。</li> <li>・ また、遊歩道上に落ちた枯れ枝についても集積して木質バイオマス発電に利用した。</li> <li>・ 今後の保全活動に役立てるため、署フォレストボランティアと連携して林内状況調査を行った。調査では、クロマツへのツル絡みが顕著な箇所について、年度内にツル切り作業を実施することとした。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 市民ボランティアと連携した取組の実施
連携協働相手先・役割	能代市、市民ボランティア、署フォレストボランティア 署と連携して保全管理活動を実施
取組の結果、反響、今後の課題等	・ 後谷地国有林は大半が「森林と人との共生林」に機能類型区分されており、快適に利用してもらうためには今後もクリーンアップをはじめとした活動が必要。
PR の実施状況及びその期待する効果	・ 国民の森林クリーンアップ月間において実施した活動を地元紙へ掲載してもらい、森林の重要性を一般の方々から再認識してもらう。

【参考資料】

取組名	市民との連携による「風の松原」の保全管理（継続）
-----	--------------------------

○林内清掃活動の様子



○枯れ枝などを集積して木質バイオマス発電に活用



○ツル絡みが顕著な箇所などについて調査



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 90 (当初計画 : No. 93)

東北森林管理局

取組名	フォレストボランティアと連携した登山道整備 (継続)
流域名	米代川流域 (米代西部)
重点事項番号	⑥ - 62
実施箇所及び実施日	藤里町鹿瀬内沢国有林 1020 林班 小岳登山道 平成 24 年 10 月 24 日 (水)
取組の背景及び必要性	白神山地世界遺産地域に隣接する小岳登山道は、近年、歩道脇からの灌木の侵入が多く歩行の妨げとなるところもあることから、歩道に被さっている立木の枝の除去等を行い安全を図る。
取組の内容	・署 OB を主体とするフォレストボランティア、藤里町ガイド協会と署職員・グリーンサポートスタッフが連携して、小岳登山道に覆い被さっている木の枝と笹を、剪定ばさみにより除去した。
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署・グリーンサポートスタッフ 歩道状況の把握と歩道施設の維持管理
連携協働相手先・役割	フォレストボランティア・藤里町ガイド協会 施設の維持修繕
取組の結果、反響、今後の課題等	・多くの登山者が訪れる小岳ににおいて、これまではガイドをしていても危険を感じる場合が多々あったが、登山道整備を行ったことにより、安全が確保されたという感謝の言葉をいただいた。 ・引き続き歩道の状況把握に努めたい。
PR の実施状況及びその期待する効果	・安全で快適に登山ができる環境を作ることにより、白神山地世界遺産地域を身近に感じてもらいたい。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	フォレストボランティアと連携した登山道整備 (継続)
○フォレストボランティア等と連携して行った小岳登山道整備	



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 91 (当初計画 : No. 94)

東北森林管理局

取組名	関係機関と連携した白神山地の情報発信 (継続)
流域名	米代川流域 (米代西部)
重点事項番号	⑥ - 63
実施箇所及び実施日	米代西部森林管理署ホームページ 平成 24 年度
取組の背景及び必要性	広く一般市民から秋田県側白神山地へのアクセスについて問い合わせがあることから、県・市町と連携して情報を提供する。
取組の内容	・昨今の登山ブームにより登山者が増え、管内の白神山地へアクセスする林道・県道・町道の問い合わせが多いことから関係する県・市町と連絡を取り道路状況を把握するようにした。また、取りまとめた情報を当署ホームページへ掲載し、関連する市町村のホームページとリンクをさせ情報を共有することにより広く情報を提供した。
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 国有林林道の状況把握と情報提供
連携協働相手先・役割	県・関係市町 県道、市町村道の状況把握と情報提供
取組の結果、反響、今後の課題等	・林道状況等の問い合わせがほとんど無い状況であり、ホームページへの掲載効果が続いていると思われる。今後についても、状況把握に努めながらホームページの更新を図りたい。
PR の実施状況及びその期待する効果	・市や町との連携により情報交換の機会が多くなった。

【参考資料】

取組名 関係機関と連携した白神山地の情報発信（継続）

○署ホームページにより情報提供

東北森林管理局

米代西部森林管理署

白神山地アクセス情報

平成23年4月27日 現在

米代西部森林管理署管内の主だった山岳と路線の状況

山岳名	主な路線(管理主体)	道路状況
ニツ森	町道真瀬線(八幡町)	通行可能
	広城基幹林道香秋線(八幡町)	通行可能
真瀬岳	町道真瀬線(八幡町)	通行可能
	真瀬林道(米代西部森林管理署)	通行可能
	中の又林道(米代西部森林管理署)	通行可能
泊岳・金山	水沢山林道(八幡町)	路面の凹凸が激しいため、四輪駆動車のみ通行可能です。
長場内岳	岳林道(米代西部森林管理署)	路面の凹凸が激しいため、四輪駆動車のみ通行可能です。
	四十八滝林道(米代西部森林管理署)	通行不能
小岳	稻毛林道(米代西部森林管理署)	通行可能(一部通行止めです。)
	大滝林道(米代西部森林管理署)	通行可能(一部通行止めです。)
	小滝林道(米代西部森林管理署)	通行可能

※現在把握している状況ですので、通行の欄は管理主体の方へ最新の情報をお問い合わせください。

各路線の延長

- 真瀬岳**
  - 町道真瀬線 61 Km
  - 広城基幹林道香秋線 12.7 Km
- ニツ森**
  - 町道真瀬線 6.1 Km
  - 真瀬林道 0.4 Km
  - 中の又林道 5.1 Km
- 泊岳**
  - 水沢山林道 7.2 Km
- 長場内岳**
  - 岳林道 3.9 Km
  - 四十八滝林道 5.1 Km
- 小岳**
  - 稻毛林道 2.1 Km
  - 大滝林道 6.7 Km
  - 小滝林道 2.3 Km

米代西部森林管理署管内白神山地 アクセス概略図

管理主体の連絡先と秋田県内の関連情報ホームページ（各ページへジャンプします）

鹿里町	0185-79-2111(代表)	<a href="http://www.town.fujisato.akita.jp/">http://www.town.fujisato.akita.jp/</a>
八幡町	0185-76-2111(代表)	<a href="http://www.town.happou.akita.jp/index.php?psd=6">http://www.town.happou.akita.jp/index.php?psd=6</a>
総代市	0185-89-2184(農林水産課)	<a href="http://www.city.neshara.akita.jp/index.html">http://www.city.neshara.akita.jp/index.html</a>
東北森林管理局	018-836-2014(受付案内)	<a href="http://www.shokami.go.jp/index.html">http://www.shokami.go.jp/index.html</a>
(白神情報センター)		
雄勝森林センター	0185-79-1003(代表)	<a href="http://www.nryga.maff.go.jp/tohoku/ayo/humesto/index.html">http://www.nryga.maff.go.jp/tohoku/ayo/humesto/index.html</a>
米代西部森林管理署	0185-54-5511(代表)	<a href="http://www.nryga.maff.go.jp/tohoku/ayo/yonesirosebu/index.html">http://www.nryga.maff.go.jp/tohoku/ayo/yonesirosebu/index.html</a> (トップページへ戻ります)

お問い合わせ先

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 92 (当初計画 : No. 95)

東北森林管理局

取組名	治山施設のPRと除伐体験による森林整備体験の実施(継続)
流域名	米代川流域(米代西部)
重点事項番号	④-43・⑥-61
実施箇所及び実施日	能代市大開浜国有林153林班 平成24年10月30日(火) 外部来客者
取組の背景及び必要性	治山施設により市民の暮らしが守られていることをPRし治山事業の必要性を伝える。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災で被害を受けた宮城県の住民が管内海岸林を視察した際に、消波ブロックや海岸林へのクロマツ植栽状況について状況説明を行いながら治山事業への理解を深めた。</li> <li>・なお、当初予定していた小学生等を対象にした除伐による森林整備体験については実施できなかった。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 海岸防災林造成事業のPR
連携協働相手先・役割	宮城中央森林組合・公益財団法人オイスカ 治山事業PR機会の設定
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に海岸で風を感じるにより、海岸林の必要性を感じさせることができた。</li> <li>・森林整備体験については、年度前に小学校等に対して意向把握をするなどの対応が必要と思われる。</li> </ul>
PRの実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の復興における海岸林の必要性について、治山施設のPRにより今後の事業への理解度が深まる。</li> </ul>

【参考資料】

取 組 名	治山施設のPRと除伐体験による森林整備体験の実施(継続)
-------	------------------------------

○外部来客者に対し海岸防災林について説明



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 93 (当初計画 : No. 96)

東北森林管理局

取組名	市町村森林整備計画策定の支援(新規)
流域名	米代川流域(米代西部)
重点事項番号	②-24
実施箇所及び実施日	能代市・潟上市・男鹿市・藤里町・五城目町・三種町・八峰町 井川町の各庁舎内 6月19日(火)～28日(木)
取組の背景及び必要性	市町村森林整備計画の樹立に向け情報提供、アドバイス等の支援を行う。
取組の内容	・「森林・林業再生プラン」に基づき、国有林職員(准フォレスター)が民有林支援を行うこととなった旨を各市町村の首長に説明し、事務担当者レベルで情報提供やアドバイス等支援をすることで確認。
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 民有林行政への支援
連携協働相手先・役割	能代市・潟上市・男鹿市・藤里町・五城目町・三種町・八峰町 井川町 民有林に関する情報の提供
取組の結果、反響、今後の課題等	・市町村森林整備計画に係る森林調査簿の整備について、国有林側から図面の情報提供を行ったことや、分収林に係る測量成果の提供など支援を行ったことにより、実施市町村から感謝の意が示された。
PRの実施状況及びその期待する効果	・機会ある毎に民有林行政への支援についてPRを行うことにより、民国が連携できる関係に期待。

(様式 2)